

九州地域戦略会議

第19回夏季セミナー

新たな価値をともに創るKYUSHU（九州）を

目指して

～ ニューノーマル時代の豊かさとは ～

【開催日】2022/令和4年8月4日（木）～8月5日（金）

【会場】ロワジュールホテル那覇

メイン会場（開会式・基調講演・意見交換会・全体会議）：3階「天妃」

第1分科会：1階「あまいろA」

第2分科会：1階「あまいろB」

第3分科会：1階「あまいろC」

第4分科会：3階「龍宮」

目次

ごあいさつ	2
プログラム	4
基調講演	7
第1分科会 「行政と民間・経済界の連携による移住・関係人口の促進」	9
第2分科会 「新しいシリコンアイランド九州の創造に向けて」	11
第3分科会 「新しい資本主義を考える ～九州における成長と分配の好循環の 実現に向けて～」	13
第4分科会 「心の豊かさを成長につなぐ “幸せコミュニティ” の実現に向けて」	15
参加者名簿	別冊

ご あ い さ つ

九州地域戦略会議夏季セミナーが、新型コロナの感染症対策を徹底したうえで、今回3年ぶりに開催されますことを心からお慶び申し上げます。

長期にわたるコロナ禍によって、経営力の弱い中小企業や小規模事業者に大きな影響が出ており、感染症対策と併せて、社会経済の再活性化を図っていかねばなりません。

特に、コロナ禍を契機として浮き彫りとなった、我が国のデジタル化の遅れを取り戻すべく、多様な分野でのデジタル変革、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進していくことが重要であり、商工業、サービス業の分野はもちろん、交通運輸、医療、福祉、教育などのあらゆる分野におけるデジタル変革の推進が急務です。

このような中、本年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」では、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵略、一刻の猶予も許さない気候変動問題などを踏まえ、「新しい資本主義」の実現に向けた取組を進めることとされています。

また、同日に閣議決定された「デジタル田園都市国家構想基本方針」では、年内に国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改正し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」の策定が予定されています。少子高齢化・人口減少が進行する中、地方創生は国・地方が掲げる最大の課題であるため、国の動向を注視しながら、今後の対応を検討していかねばなりません。

今回19回目を迎える夏季セミナーでは、「新たな価値をともに創るKYUSHU(九州)を目指して ～ニューノーマル時代の豊かさとは～」を統一テーマに、「行政と民間・経済界の連携による移住・関係人口の促進」、「新しいシリコンアイランド九州の創造に向けて」、「新しい資本主義を考える～九州における成長と分配の好循環の実現～」、「心の豊かさを成長につなぐ“幸せコミュニティ”の実現に向けて」の4つの分科会を設定いたしました。

九州・山口地域をリードする産学官のトップが一堂に会する貴重な機会であり、参加者の皆様には、今後の政策実現につながる積極的なご議論をいただきたいと存じます。

結びに、本セミナーが、「九州はひとつ」という機運をさらに高め、新たな価値をともに創るKYUSHU（九州）の実現につながる契機となることを祈念いたします。

九州地域戦略会議 共同議長
九州地方知事会 会長 広瀬 勝貞

ごあいさつ

2年半に及ぶコロナ禍は、観光や飲食、移動を伴うビジネスをはじめ様々な分野に大変深刻な影響をもたらしましたが、ようやく、各種の行動制限を見直しながら社会経済活動の活性化に向けた出口戦略が進みつつあります。

今回、3年ぶりに九州地域戦略会議・夏季セミナーを開催する運びとなりました。with コロナの下で、「動いていい、動くべき」という流れを大事にし、一日も早く日常生活を取り戻していかねばなりません。

いま、一極集中から分散化、デジタル化の加速などの大きな変革が生まれ、日本全体で地方の魅力が高まっています。

九州・山口地域には大きなアドバンテージがあると感じています。アジアに近いといった地の利に加え、サプライチェーンの寸断による日本回帰の動きも追い風です。クリーンエネルギー比率の高さも活かしつつ、シリコンアイランド九州の創造的復活や、EVや水素といった次世代産業の推進など、九州・山口地域から大きく風を起こしていく必要があります。

また、経済成長の目標を定め、競争力を追求していくことはもちろん大切ですが、純粹に「九州に住んでいる人って幸せそうだな」と思ってもらえるコミュニティを育み、豊かな社会生活を実現していくことも、これから地域に人を呼び込んでいく上では重要になると考えています。そのために、キーとなるのがDXだと思います。

幸い、「九州はひとつ」の理念は脈々と受け継がれています。九州地域戦略会議に代表されるように、産学官が一体となって取り組める地域は、全国には九州・山口以外にはありません。この夏季セミナーも、2004年に宮崎県で第1回を開催して以降、九州の発展戦略について議論を重ねてまいりました。

第19回夏季セミナーでは、「新たな価値をともに創る KYUSHU (九州) を目指して～ニューノーマル時代の豊かき」を統一テーマに掲げ、4つの分科会を設定いたしました。

ここ沖縄の地にて、本土復帰50周年という歴史的節目の年に、九州の産官学の代表が一堂に会することは、大変意義あるものであり、大きな成果につなげていきたいと強く願っております。是非、新たな未来の創造への次なるアクションを探るべく、各分科会においてご討議いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本セミナーが、「九州から日本を動かす」という機運をさらに高め、世界に通じる KYUSHU の実現につながる契機となることを祈念いたします。

九州地域戦略会議 共同議長

一般社団法人九州経済連合会 会長 倉富 純男

九州地域戦略会議「第 19 回夏季セミナー」プログラム

第1日 8/4 (木)

13:30 ■ 開会式

会場 : 3階「天妃」

開会挨拶 九州地域戦略会議 共同議長

広瀬 勝貞

倉富 純男

沖縄県知事

玉城 デニー

13:45 ■ 基調講演

「日本が目指すデジタル社会」

デジタル大臣、行政改革担当大臣、

牧島 かれん

内閣府特命担当大臣（規制改革）

15:30 ■ 分科会

第1分科会 「行政と民間・経済界の連携による移住・関係人口の促進」

会場 : 1階「あまいろ A」

座 長 長崎大学 経済学部 准教授

山口 純哉

事例発表者 山梨大学 生命環境学部 教授

田中 敦

事例発表者 (一社)東彼杵ひとこともの公社 代表理事

森 一峻

事例発表者 九州電力(株) 総務部長

辻 慎一

事例発表者 富士通(株) 執行役員 EVP

平松 浩樹

第2分科会 「新しいシリコンアイランド九州の創造に向けて」

会場 : 1階「あまいろ B」

座 長 九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会 会長

岩上 徹

事例発表者 九州経済産業局長

苗村 公嗣

事例発表者 (公財)福岡アジア都市研究所理事長

安浦 寛人

第3分科会 「新しい資本主義を考える～九州における成長と分配の好循環の実現に向けて～」

会場：1階「あまいろC」

座長 九州経済同友会 代表委員 青柳 俊彦
事例発表者 内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 次長 三浦 章豪

第4分科会 「心の豊かさを成長につなぐ“幸せコミュニティ”の実現に向けて」

会場：3階「龍宮」

座長 (一社)九州経済連合会 理事・ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会 副委員長 池内 比呂子
事例発表者 (一社)九州経済連合会 専務理事 平井 彰
事例発表者 (株)日立製作所 フェロー 矢野 和男
(株)ハピネスプラネット 代表取締役 CEO
事例発表者 (一社)九州経済連合会 行財政委員会 企画部会長 石丸 修平
九州大学 客員教授

18:15 ■ 名刺・意見交換会

会場：3階「天妃」

第2日 8/5 (金)

9:00 ■ 全体会議

会場： 3階「天妃」

全体会議座長

倉富 純男

分科会報告 第1分科会座長

山口 純哉

第2分科会座長

岩上 徹

第3分科会座長

青柳 俊彦

第4分科会座長

池内 比呂子

10:30 ■ 閉会

基調講演

「日本が目指すデジタル社会」

デジタル大臣、行政改革担当大臣、内閣府特命担当大臣（規制改革）

牧島 かれん 氏

略歴

1976年生まれ 神奈川県出身

（学歴）

国際基督教大学教養学部社会科学科卒業

米国ジョージワシントン大学ポリティカルマネージメント大学院修了（修士号取得）

国際基督教大学大学院行政学研究科博士後期課程修了（博士号取得）



（職歴）

2012年12月 第46回衆議院選挙において初当選

2015年10月 内閣府大臣政務官（地方創生・金融・防災担当）

2018年10月 自由民主党 IT戦略特別委員会 事務局長

2019年10月 自由民主党 デジタル社会推進特別委員会 事務局長

2020年9月 自由民主党 青年局長

2020年10月 自由民主党 デジタル社会推進本部 事務局長

などを歴任

2021年11月 デジタル大臣、行政改革担当大臣、内閣府特命担当大臣
（規制改革） 就任

現在に至る

Memo

第1分科会 「行政と民間・経済界の連携による移住・関係人口の促進」

趣 旨

移住による人材確保は官民で連携しながら取り組んでいく課題であり、民間企業の皆様にも「自分ごと」として認識してもらう

関係人口の拡大には、行政による取組はもとより、多様な働き方による民間企業の取組もポイントであることを伝える

論 点

- ① 地方へのひとの流れをつくり、東京圏への一極集中を是正するためには、若い世代を中心に地方移住への関心が高まってきている傾向を的確に捉え、新型コロナウイルス感染症を契機とした新しい働き方を取り込みながら地方移住の動きをさらに後押しすることが必要
- ② 併せて、移住者の定住に向けては、地域全体で移住希望者を受け入れるための受け皿作りを推進し、展開していくことが必要
- ③ 一方で、地方移住の裾野拡大を図っていくためには、九州・山口地域に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大が重要
- ④ 移住・関係人口の促進に関して、行政と民間・経済界・大学の連携を深め、国の施策を有効に活用しながら、地域活力づくりに繋げるための課題や方策について議論

座 長

長崎大学 経済学部 准教授 山口 純哉 (やまぐち じゅんや) 氏

経 歴

1997.03 神戸商科大学大学院経済学研究科修士課程修了

2000.03 神戸商科大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学

2000.04 長崎大学経済学部専任講師 (地域経済論担当)

2001.08 長崎大学経済学部助教授

2007.04 長崎大学経済学部准教授

事例発表者

- 山梨大学 生命環境学部 教授 田中 敦 氏
- (一社)東彼杵ひとこともの公社 代表理事 森 一峻 氏
- 九州電力(株) 総務部長 辻 慎一 氏
- 富士通(株) 執行役員 EVP 平松 浩樹 氏

Memo

第2分科会 「新しいシリコンアイランド九州の創造に向けて」

趣 旨

世界的に半導体需要が高まる中、台湾の半導体製造大手TSMCの熊本への進出を契機に、九州圏内における半導体関連産業の更なる集積や関連人材の育成・確保等について、最新の動向等に関する事例発表や意見交換を行う。

論 点

- ① 九州圏内における半導体関連産業の更なる集積とそれらがもたらす影響や可能性について
 - ・九州を取り巻く半導体の現状と将来像について
 - ・九州における取組の方向性や方策について
- ② 半導体産業の歴史や関連人材の現状等を踏まえたアプローチについて
 - ・九州における半導体関連産業の変遷と現状について
 - ・半導体関連人材の育成について

座 長

九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会 会長 岩上 徹（いわがみ とおる）氏
三菱電機(株) パワーデバイス製作所長

経 歴

1993年 熊本大学 工学部 電機情報工学科卒業 三菱電機(株)入社
2008年～2013年 三菱電機(株) パワーデバイス製作所 製品設計課長
2013年～2020年 三菱電機(株) パワーデバイス製作所 製品設計部長
2020年～2022年 三菱電機(株) パワーデバイス製作所 副所長
2022年～ 三菱電機(株) パワーデバイス製作所長
九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会 会長

事例発表者

- 「シリコンアイランド九州の更なる発展に向けて
～2030年の日本社会を支える九州であるために～」
九州経済産業局長 苗村 公嗣（なむら きみひで）氏
- 「九州における半導体産業と人材育成へ ～今、これまで、これから～」
(公財)福岡アジア都市研究所理事長 安浦 寛人（やすうら ひると）氏

Memo

第3分科会「新しい資本主義を考える～九州における成長と分配の好循環の実現に向けて～」

趣旨

我が国は、「失われた30年」と呼ばれる経済の長期低迷が続いており、その脱却のためには、従来にも増して、個々の企業が成長と利益拡大を追求する必要性があり、より成長を重視した経済・産業政策の導入が求められることになる。

一方で、我が国では個人の給与も長期に伸び悩んでおり、貧困問題が我が国の大きな課題として認識されるようになった。今後も、知識社会の到来やAI/IoT/DX/ロボティクスの普及により、高度なスキルが伴わないホワイトカラーやショップ店員、生産工程に携わる労働者は着実に減少すると見込まれ、より一層の格差拡大が懸念される。

こうしたなか、岸田政権は、成長と分配の好循環の実現を目指し、新しい資本主義実現会議を設置し、政策パッケージを策定中である。

九州においても、経済活動の低迷と賃金の低迷から脱却する必要性があり、政府の対策を待つまでもなく、成長を実現し、貧困の拡大を食い止める必要がある。

そこで、課題認識の共有化を図るとともに、九州の企業・地方自治体・大学による解決に向けた取り組みのあり方について検討する。

論点

① 経済の長期低迷の要因は何か。如何にして経済成長を実現するか。

(九州の成長産業・戦略分野、生産性向上実現(特に中小企業)、企業の新陳代謝、イノベーション、スタートアップ(大学発ベンチャー)、労働力の流動性など)

② 格差・貧困の実態はどのようなものか。如何にして改善・解消を図るのか。

(非正規雇用・フリーランス、労働分配率、人的資本投資、リカレント教育など)

③ 「①、②」の課題に対して、九州の企業・地方自治体・大学はどう対応すべきか。

座長

九州経済同友会 代表委員 青柳俊彦(あおやぎとしひこ)氏

経歴

昭和28年生まれ、福岡県出身 東京大工卒

昭和52年4月 日本国有鉄道(株)入社

昭和62年4月 九州旅客鉄道(JR九州)入社

平成26年6月 代表取締役社長

令和元年6月 代表取締役社長執行役員兼最高経営責任者

令和4年4月 代表取締役会長執行役員

令和3年6月 九州経済同友会代表委員

事例発表者

●「新しい資本主義の実現に向けて」

内閣官房 新しい資本主義実現本部 事務局 次長 三浦章豪(みうらたかとし)氏

Memo

第4分科会 「心の豊かさを成長につなぐ“幸せコミュニティ”の実現に向けて」

趣 旨

九経連((一社)九州経済連合会)が公表した『九州将来ビジョン 2030』では「成長と心の豊かさをともに」をモットーに、Ⅰ.新たな時代の成長エンジンで「九州から日本を動かす」気概と情熱で地域経済社会の先進モデルを確立、Ⅱ.心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティで多様な人材を活かし、新たな価値創造を促す、Ⅲ.自立型広域連携アイランドによって九州のポテンシャルを活かし、強固な連携で成長と心の豊かさを支えるという3つのありたい姿を目指し、10の課題と35の具体的活動を掲げて活動している。

また、本年公表した『九州将来ビジョン 2030 と「幸せコミュニティ」指標』では上記課題、具体的活動を実行することで、「幸せコミュニティ」に関する客観的指標の数値が上がり、主観的にも幸せと感じる人が多い九州の現状に限りなく近づき、地域コミュニティとして「幸せ」を共有しつつ、「共生・共感・共創アイランド九州」を実感できることを目標に掲げている。

一方、九州に暮らす人々にとって、スマートシティの概念を九州全体に置き換え、防災や感染症対策、さらにいわゆる交通弱者と言われる方々に寄り添った地域社会の諸課題を地域全体で共有し、一体となってDXの概念を取り込んだ「スマートリージョン(仮称)」の概念を九州全体で共有することが肝要である。

本夏季セミナーでは上記内容について官民で共有し、「幸せコミュニティ九州」の実現に向け、官民が一体となって取り組む端緒の場としたい。

論 点

「幸せコミュニティ九州」実現へのアプローチは何か～職場や家庭から地域社会へ

- ① 企業や地域社会に籍を置く人々の「幸せ」を相互作用させ、企業、地域社会で共有するには
- ② 社会に潜む性別役割分担やアンフェアをなくすための男女共同参画等の取組み共有
- ③ DX等の概念を取り入れ、無駄なく九州が「一体」となる地域となるための具体的方策とは

座 長

九経連 理事・ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会 副委員長

(株)テノ. ホールディングス 代表取締役社長 池内 比呂子(いけうち ひろこ) 氏

〔経 歴〕

長崎県大村市生まれ。外資系企業に勤務後、「(有)ドワイト(現：(株)テノ. コーポレーション)」を創業。女性のライフステージ支援を理念に掲げ、保育事業の他多くの事業を展開。2009年には九経連初の女性役員として理事就任。2015年には「(株)テノ. ホールディングス」を設立。

事例発表者

- 『九州将来ビジョン 2030 と「幸せコミュニティ」指標』 九経連 専務理事 平井 彰氏
- 『ウェルビーイング経営の本質～利益と幸せをつなぐには～』
(株)日立製作所 フェロー (株)ハピネスプラネット 代表取締役 CEO 矢野 和男氏
- 「九州スマートリージョン構想(仮称)～心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティに向けて～
九経連行財政委員会 企画部会長 九州大学 客員教授 石丸 修平氏

Memo

九州地域戦略会議 事務局

九州地方知事会

〒870-8501

大分市大手町 3-1-1

大分県総務部行政企画課内

電話 (097) 506-2482

FAX (097) 506-1712

一般社団法人 九州経済連合会

〒810-0004

福岡市中央区渡辺通 2-1-82

電気ビル共創館 6階

電話 (092) 761-4261

FAX (092) 724-2102